

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

道路ストック修繕事業／市道路面下空洞修繕事業 (継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額		72,000	(単位：千円)				
財源内訳	特定財源	国県支出金	39,600	事業期間	平成25年度～平成30年度	全体事業費	255,912
		地方債	25,900	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
		一般財源	6,500	施策の内容	4 道路環境の形成		

事業の目的

道路の計画的な予防保全型修繕を推進し、避難路及び緊急輸送路の安全確保を図ります。

事業の概要

◎道路ストック修繕事業

平成25年12月の中央自動車道笹子トンネル事故等を踏まえ、道路施設の予防型修繕を目的として、路面性状調査、擁壁・法面、照明施設等の点検調査を実施し、その結果に基づき各施設の修繕工事を実施します。

【これまでの経緯】

平成25年度～平成26年度 道路ストック総点検事業の実施
平成27年度 擁壁修繕詳細設計、道路照明施設修繕工事（8基）

【今年度事業内容】 擁壁補修工事（新川，大岩田の2か所） 事業費 44,000千円

【今後の予定】 平成29年度～平成30年度 道路舗装打換工事



新川擁壁現況

◎市道路面下空洞修繕事業

市道のうち、緊急輸送道路等L=194kmについて、路面下空洞調査を実施した結果、陥没の危険性が高いと判断された83か所について、空洞二次調査を行い、修繕工事を実施します。

【これまでの経緯】

平成25年度～平成26年度 路面下空洞調査の実施 L=194km（77路線）
平成27年度 路面下空洞二次調査の実施（調査箇所40か所）

【今年度事業内容】 路面下空洞二次調査（調査箇所43か所）及び路面下空洞修繕工事の実施（修繕予定箇所23か所） 事業費 28,000千円

【今後の予定】 平成29年度 路面下空洞修繕工事（修繕箇所30か所予定）

期待される効果・成果目標等

道路施設の適切な点検調査による現状把握と、その結果に基づく的確な修繕を実施することにより、安全かつ円滑な交通の確保に努めるものです。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業 (継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額		117,000		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	64,350	事業期間	平成7年度～平成42年度	全体事業費	1,057,738
		地方債	47,300	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
		一般財源	5,350	施策の内容	8 橋梁震災対策の推進		

事業の目的

橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、安全な道路交通を推進します。

事業の概要

◎橋梁耐震対策事業(平成7年度～平成42年度)：橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図ります。

【これまでの経緯】耐震化予定の橋梁34橋のうち、16橋について落橋防止等を施工しました。

【今年度事業内容】国道6号5号橋耐震補強工事，国道6号6号橋耐震補強工事設計委託 事業費 28,000千円

【今後の予定】平成42年度までに、34橋について耐震化工事を実施します。

◎橋梁長寿命化修繕事業(平成25年度～平成33年度)：老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図ります。

【これまでの経緯】市で管理している橋梁243橋のうち橋長15m以上の79橋について策定した橋梁長寿命化修繕計画(平成23年度)に基づき、橋梁9橋について修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】桜川1号橋他2橋修繕工事，天の川3号橋他7橋修繕詳細設計委託 事業費 89,000千円

【今後の予定】平成33年度までに、34橋について修繕工事を完了させ、平成34年度から残りの45橋について工事を行います。



国道6号5号橋
(中高津第二跨道橋) 現況

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。

※平成28年度末進捗率(予定)：橋梁耐震対策事業 50.0%(前年度比2.9%増)，橋梁長寿命化修繕事業 15.2%(前年度比3.8%増)

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

道路新設改良事業

(継続)

担当 建設部
道路課

予算額		650,009		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	100,000	事業期間	平成28年度	全体事業費	650,009
		地方債	458,400	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	91,609	施策の内容	3 生活道路の整備		

事業の目的

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るとともに、歩行者及び自転車通行の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（平成27年4月1日現在） L = 1,515,954m（6,918路線）
うち改良済延長 L = 711,787m（改良率 46.95%）
うち歩道整備済延長 L = 120,380m（歩道整備率 7.94%）

【今年度事業内容】

(単位：m, 千円)

区分	路線数	延長	金額
道路改良工事	40	4,145	443,000
測量設計委託	25	6,353	73,500
用地取得	35		61,900
物件移転補償	28		62,280
役務費（登記料等）			7,220
原材料購入			500
事務費等			1,609
合計			650,009



市道 I 級38号線（荒川沖東三丁目）整備状況

【今後の予定】

住みよいまち実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。

期待される効果・成果目標等

道路拡幅整備により日常生活の利便性の向上を図るとともに、歩行者・自転車通行の確保、緊急車両等の通行を可能にすることにより、市民の安全と交通事故の防止に寄与します。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業 (継続)

担当	建設部 下水道課
----	-------------

予算額		63,500		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	36,490	事業期間	平成28年度	全体事業費	63,500
		地方債	19,400	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	5 浸水被害に強いまちづくり		
		一般財源	7,610	施策の内容	1 都市下水路の整備		

事業の目的

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する施設の整備を計画的に進めます。また、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しながら、生活環境の改善に努めます。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】平成22年度から、西根竹の入都市下水路，天川上高津都市下水路等の整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】西根竹の入都市下水路整備工事 L=50m 事業費 47,500千円

※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、実施します。

【今後の予定】西根竹の入都市下水路については、引き続き、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、年次計画に基づき、整備します（～平成29年度）。

◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】平成25年度から、虫掛・中高津・荒川沖地内等において整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】虫掛地内小規模排水路整備工事 L=100m 事業費 16,000千円

【今後の予定】今後も引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

協働のまちづくりファンド事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額		15,150		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度
		地方債		施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり
		その他	15,000	施策名	3 景観の向上
	一般財源		150	施策の内容	3 市民参加による都市景観づくり
		全体事業費			15,150

事業の目的

「土浦市協働のまちづくり基金」を活用し、市民団体等が自主的に行うまちづくり活動に対して補助することにより、魅力的で個性豊かな活力ある地域社会の実現を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度から事業を開始し、これまで、市民提案事業（ハード）2件、景観形成事業7件の事業認定を行っています。

【今年度事業内容】

◎市民提案事業（ハード）・・・市民団体の提案する公共性や公益性の高いハード事業

上限5,000千円 補助率4/5以内

◎景観形成事業・・・指定地区における歴史的建造物等の保存や修景工事に係る事業

(単位：千円)

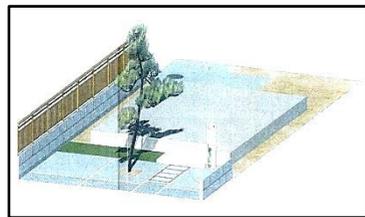
補助対象物件	補助額の上限	補助率
景観重要建造物	5,000	2/3以内
中城通り地区の建築物	3,000	2/3以内
上記以外の建築物	1,500	1/2以内
外構等	1,000	1/2以内

【今後の予定】

事業の周知徹底により、更なる利用促進を図ります。



周辺の公共施設の修景が進んでおり、行政と歩調を合わせて、和風の意匠で建替えを行う。



旧城下町地区の歴史的景観に配慮し、天然素材を取り入れた和風の意匠の外構を復旧する。

平成27年度 認定事業（景観形成事業）

期待される効果・成果目標等

自主的・主体的な市民活動の活性化により、本市固有の歴史景観の維持保全と、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

協働のまちづくりファンド事業

(継続)

担当	市民生活部 市民活動課
----	----------------

予算額		2,100		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	2,100
		地方債		施策の大綱	1-2 市民と行政が一体となった協働のまちづくり		
		その他	2,100	施策名	1 市民協働のまちづくりの推進		
		一般財源	0	施策の内容	1 協働のシステムづくり		

事業の目的

「土浦市協働のまちづくり」基金を活用し、市民活動団体が自主的に行うまちづくり活動に対して補助することにより、魅力的で個性豊かな活力ある地域社会の実現を目指します。

事業の概要

◎市民提案（ソフト）事業

コミュニティの活性化や地域課題を解決するため市民自らが実践する新たなまちづくり活動となる事業への補助

- ・1年目 上限300千円 補助率3/4
- ・2年目 上限200千円 補助率1/2

○対象団体

NPO法人、ボランティア団体等の市民活動団体

【これまでの経緯】

平成27年度から事業募集を開始し、3件の事業を認定

【今年度事業内容】

募集期間 4月～5月

※6月下旬頃に、運営委員会による審査が行われます。

【今後の予定】

事業の浸透に努め、継続的に実施します。

【平成27年度認定事業の実施の様子】



●NPO法人エコレン
『市民のエコ活動推進事業
(レッツエンジョイエコラ
イフ)』

●NPO法人
ネイチャークラブにいはいり
『ふるさと再発見プロモ
ーション』

●中城通りおかみさん会
『中城通り秋のにぎわい市
- 缶バッチでつなごう
人・街・店-』

期待される効果・成果目標等

自主的・主体的な市民活動の活性化により、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に寄与することが期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

かわまちづくり事業

(継続)

担当	都市整備部 都市計画課
----	----------------

予算額		21,663				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	8,500	事業期間	平成24年度～平成30年度	全体事業費	149,704
		地方債	7,600	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備		
		一般財源	5,563	施策の内容	6 良好な水辺空間の整備		

事業の目的

平成25年度に策定した「かわまちづくり計画（計画期間：平成26年度～平成30年度）」に基づく事業を市民・河川管理者・市の連携の下で推進することにより、霞ヶ浦や桜川の水辺空間とまちが融合した良好な空間形成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度 基本・実施設計委託（遊歩道、カヌー等船着き場、トイレ等），遊歩道の距離標デザインの募集等
 平成27年度 遊歩道整備工事（常磐線・桜川橋間 L=252m），ガードレール修繕工事（匂橋付近）等

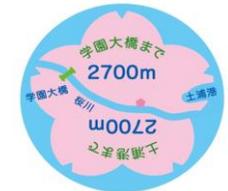
【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
遊歩道整備工事 (桜川左岸 銭亀橋・土浦橋間 L=250m)	17,000
距離標設置 (遊歩道路面上 土浦港～学園大橋 L=5.5km, 100mごと)	3,870
川の標識設置 (水郷橋～学園大橋 N=6か所) 等	793
合計	21,663



桜川左岸（土浦橋・銭亀橋間）現況



距離標デザイン
最優秀作品

【今後の予定】

平成30年度までに、カヌー等船着き場、トイレ等を整備します。また、計画については、平成30年度に、計画内容及び取組状況を検証し、見直しを行います。

期待される効果・成果目標等

中心市街地に近接する霞ヶ浦や桜川の水辺空間について、まちと水辺が融合した良好な空間形成が図られることにより、市民に潤いや安らぎをもたらす、生涯学習、健康づくり、遊びの場等となるとともに、恵まれた自然環境を生かしたまちの活性化に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

亀城モール整備事業 (継続)

担当	都市整備部 都市計画課
----	----------------

予算額		135,852				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	65,941	事業期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	904,303
		地方債	59,300	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	10,611	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と、潤いのある都市空間の形成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度 補償調査の実施，用地補償
平成27年度 用地補償

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
用地補償	131,883
柵設置工事等	2,000
補償調査等	1,969
合計	135,852

【今後の予定】

平成29年度 工事着手



整備イメージ

期待される効果・成果目標等

歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、市民や来訪者にとって潤いのある憩いの空間が形成されます。また、イベント等での活用を図ることにより、にぎわいを創出するとともに、中心市街地の更なる魅力向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

立地適正化計画策定事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額		12,617		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	6,000	事業期間	平成27年度～平成28年度
		地方債		施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	1 市民参加による適切な土地利用の誘導
	一般財源	6,617	施策の内容	2 コンパクトなまちづくりの推進	全体事業費

事業の目的

住宅及び医療、福祉、商業その他の居住に関連する施設の立地の適正化を図るため、一定の区域への誘導を行い、コンパクトなまちづくりを推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度 基礎調査，調査データ分析，誘導方針及び誘導区域素案の検討
土浦市都市計画審議会への説明等

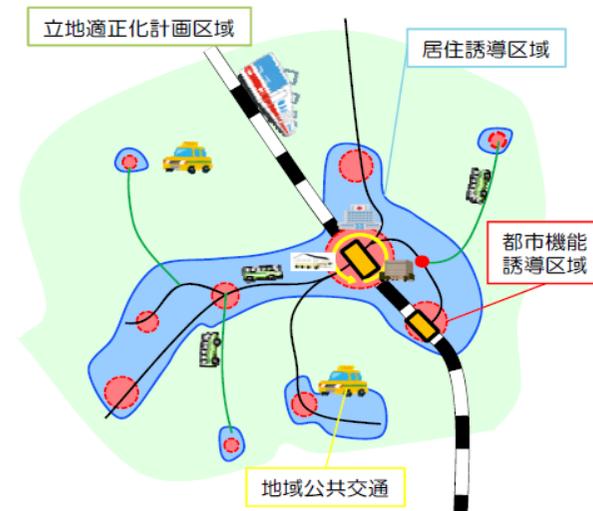
【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
立地適正化計画策定	12,000
平成27年度の調査結果を踏まえ，計画素案作成（誘導区域，誘導施策，目標値等の設定），住民説明会，都市計画審議会，パブリックコメント等の実施	
都市計画審議会の運営等（委員報酬等）	617

【今後の予定】

平成29年度から計画に基づく事業・施策を実施します（平成33年度に評価・見直しを行う。）。



立地適正化計画のイメージ

期待される効果・成果目標等

医療・福祉施設，商業施設や住居等がまとまって立地し，市民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えを実現して，市民の健康で快適な生活と，持続可能なまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦駅西口広場整備事業

(継続)

担当	都市整備部 公園街路課
----	----------------

予算額		242,123		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	118,800	事業期間	平成25年度～平成29年度	全体事業費	950,113
		地方債	110,200	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備		
		一般財源	13,123	施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備		

事業の目的

土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業，土浦駅北通り線整備事業，土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業に併せ，バリアフリー基本構想に合致した，人及び車等の利用者が安全・安心に移動できる広場への改修を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度は，バスターミナル側の改修工事を施工しています（進捗率68.0%）。

【今年度事業内容】

平成28年度は，一般車乗降場・タクシールール側の改修工事を施工します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	一般車乗降場等	237,600
工事請負費	交通安全施設等	4,400
旅費等	出張旅費等	123
計		242,123

【今後の予定】

土浦駅北通り線整備事業の完成後，交差点改良工事を施工し，平成29年度末の事業完了を目指します。



一般車乗降場・タクシールール側整備イメージ図

期待される効果・成果目標等

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分し，交錯する動線を解消することや，広場内における歩行者の車道横断を極力少なくすることにより，安全性の向上が見込まれます。また，りそな銀行前の食い違い交差点を解消し，直交化することにより，広場に入っていた通過交通の排除及び交通の円滑化を図ります。

さらに，シェルターやサイン等を併せて設置することで，利用者の利便性を向上し，公共交通機関の利用促進を図ります。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

神立駅西口地区土地区画整理事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額		503,000		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成24年度～平成31年度	全体事業費	8,610,000
		地方債	424,200	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 地域の特性を活かした市街地の整備		
		一般財源	78,800	施策の内容	2 神立駅周辺地区の整備		

事業の目的

かすみがうら市と一部事務組合を設立し、神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度 仮換地指定（指定率91%），建物等移転補償開始

平成27年度 仮換地指定（指定率100%），駅舎・自由通路整備協定締結

【今年度事業内容】

(単位：千円)

建物等移転補償費	126,626
駅舎橋上化・自由通路新設工事負担金	115,500
道路工事費・宅地造成工事費・補償算定委託料等	229,280
事務費・派遣職員人件費	31,594
合 計	503,000

【今後の予定】

平成30年6月駅舎・自由通路一部供用開始，平成31年度末事業完了

神立橋上駅舎イメージ図



期待される効果・成果目標等

駅前広場，都市計画道路，橋上駅舎や自由通路等の都市基盤を一体的に整備することにより，本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

常名虫掛線街路事業

(継続)

担当	都市整備部 公園街路課
----	----------------

予算額		360,140				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	115,084	事業期間	平成22年度～平成29年度	全体事業費	2,021,048
		地方債	215,200	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	29,856	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状線として、整備を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度末までに、全延長1,435mのうち545mの供用を開始しました。
平成27年度は、道路改良工事、道路舗装工事を施工しています（進捗率52.6%）。

【今年度事業内容】

平成28年度は、道路改良工事や基礎調査を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	327,000
補償補填及び賠償金	物件補償	26,000
委託料	基礎調査等	6,500
公有財産購入費	用地買収	390
役務費	物件補償調査	250
計		360,140

【今後の予定】

平成29年度末の事業完了を目指します。



常名虫掛線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等

中心市街地と並木地区（常磐自動車道土浦北インター）を結ぶ道路ネットワークの構築により、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上及び常名運動公園へのアクセスの向上につながります。

また、周辺自治体との新たなネットワークが強化され、観光交流の促進及び地域の復興・再生につながります。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

真鍋神林線延伸道路整備事業

(継続)

担当	都市整備部 公園街路課
----	----------------

予算額		7,718				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成24年度～平成28年度	全体事業費	1,200,670
		地方債	4,100	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	3,618	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することにより、広域的な地域間連携及び道路ネットワークの強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

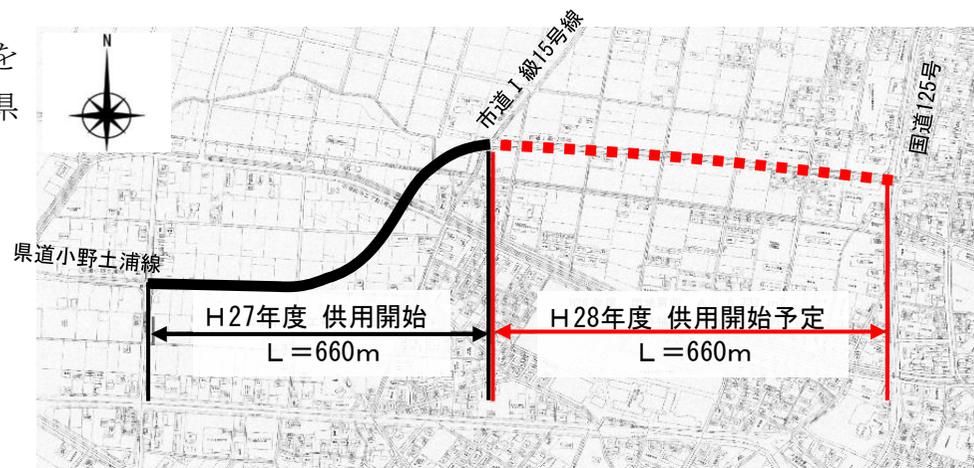
平成27年度は、用地買収、物件補償、道路改良工事、道路舗装工事を実施しました（進捗率99.3%）。平成27年度末に市道I級15号線から県道小野土浦線までの供用を開始します。

【今年度事業内容】

供用開始後の道路台帳修正、交通状況及び整備効果等の確認や、交通管理者からの要望に対応するために必要となる工事を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	排水路機能補償工事等	4,644
需用費等	報酬、旅費等	1,766
委託料	道路台帳修正、交通量調査	1,308
計		7,718



真鍋神林線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

中心市街地の交通渋滞緩和による交通アクセス機能の向上はもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与するとともに、本路線の隣接区域に新消防庁舎が建設されたことから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスも向上します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

田村沖宿線延伸道路整備事業

(継続)

担当	都市整備部 公園街路課
----	----------------

予算額		670,000				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	353,848	事業期間	平成24年度～平成29年度	全体事業費	1,421,499
		地方債	279,500	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	36,652	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度は、用地買収、物件補償、道路改良工事、交差点改良舗装工事等を実施しました（進捗率52.7%）。平成27年度末に国道354号から市道I級13号線までの供用を開始します。

【今年度事業内容】

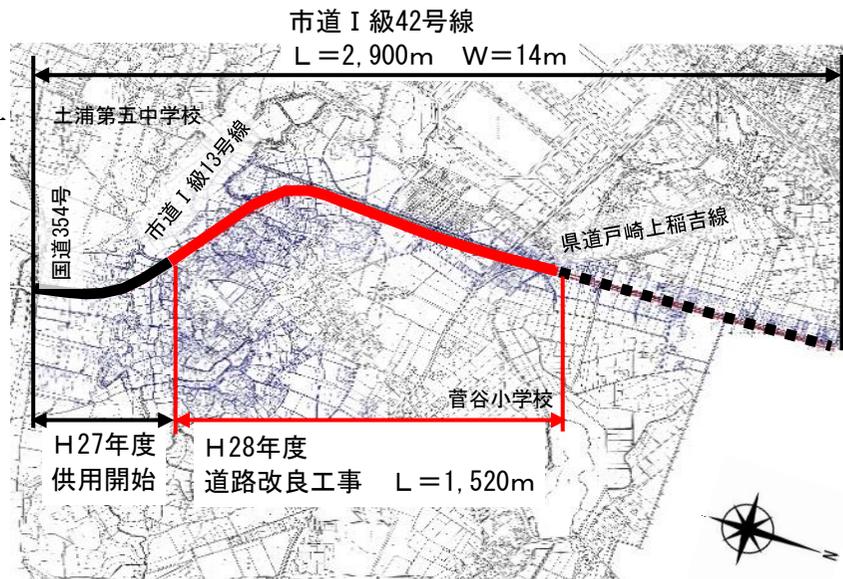
平成28年度は、用地買収、物件補償及び道路改良工事等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	562,248
補償補填及び賠償金	物件補償	82,330
公有財産購入費	用地買収	19,230
委託料等	道路台帳修正等	6,192
計		670,000

【今後の予定】

平成28年度末までに市道I級13号線から県道戸崎上稲吉線までの供用を開始し、平成29年度末までの事業完了を目指します。



田村沖宿線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市とおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院への交通アクセス向上が図れます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

荒川沖木田余線（I期）整備事業

（継続）

担当 都市整備部
公園街路課

予算額		155,960				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	80,520	事業期間	平成26年度～平成32年度	全体事業費	1,282,750
		地方債	63,200	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	12,240	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（I期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度は、道路詳細設計及び用地測量を実施（進捗率2.7%）しています。

【今年度事業内容】

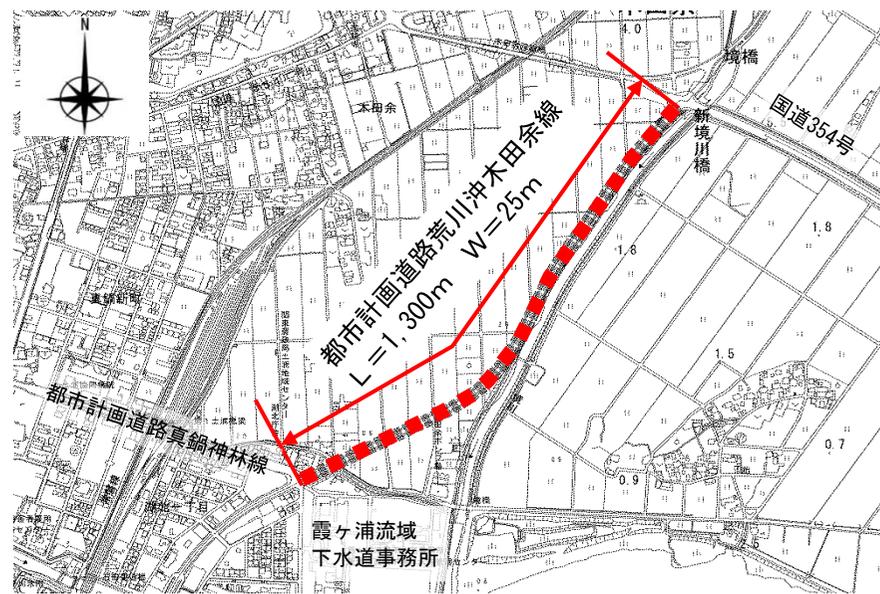
平成28年度は、用地測量を実施後、用地買収及び物件補償を進めます。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	130,450
補償補填及び賠償金	物件補償	15,000
委託料	用地測量	5,400
役務費等	物件補償調査等	5,110
計		155,960

【今後の予定】

用地買収を進めながら、平成29年度から道路改良工事に着手し、平成32年度末の事業完了を目指します。



荒川沖木田余線（I期）整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

ボトルネックの解消により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、通過交通の排除により、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

川口田中線街路事業（Ⅲ期）

（継続）

担当	都市整備部 公園街路課
----	----------------

予算額		8,500				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成20年度～平成28年度	全体事業費	930,806
		地方債	5,500	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	3,000	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

本路線は、本市の中心市街地の骨格となる市街地環状道路として位置付けられており、市街地東西を結ぶ延長2,500mの道路として都市計画決定され、Ⅰ期・Ⅱ期事業区間は既に供用開始しています。

本事業では、城北町の旧国道354号から土浦警察署までの未整備区間（Ⅲ期：L=469m）を整備し、全区間の開通を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

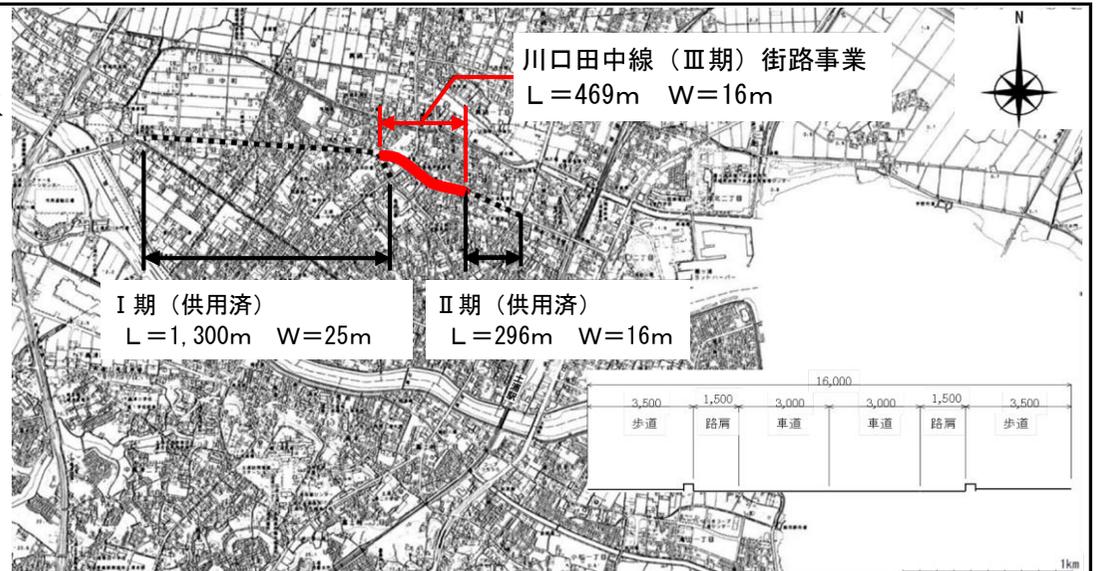
平成27年度は、本路線と国道125号との交差点改良工事を施工しています（進捗率99.1%）。

【今年度事業内容】

供用開始後の交通状況及び整備効果等の確認や交通管理者からの要望に対応するために必要な工事を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	交通安全施設設置	6,210
委託料	交通量調査等	2,290
計		8,500



川口田中線街路事業（Ⅲ期）箇所図

期待される効果・成果目標等

都市基盤である都市計画道路の整備によって、円滑な交通動線の確保と快適な道路環境を形成することにより、都市機能向上を図るとともに、防災に強いまちづくりにも寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

まちなか定住促進支援事業

(継続)

担当	都市整備部 都市計画課
----	----------------

予算額		32,200				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	16,100	事業期間	平成28年度	全体事業費	32,200
		地方債		施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備		
		一般財源	16,100	施策の内容	3 まちなか居住の促進		

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、定住促進を図る支援制度を活用し、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

◎実績

年度	家賃補助	建替え・購入補助
平成26年度	2件	8件
平成27年度	20件	20件

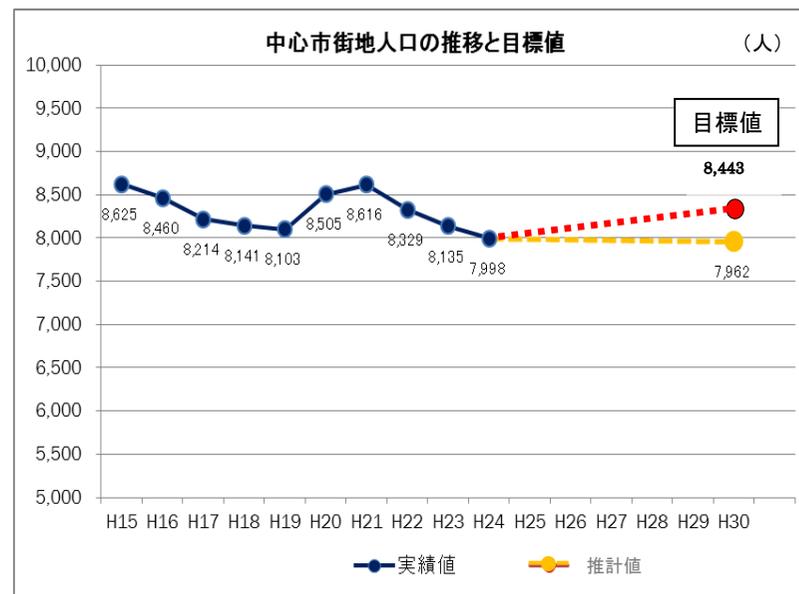
※平成27年度実績は平成27年11月末現在

【今年度事業内容】

- ①まちなか住宅建替え・購入借入金補助 25,000千円
中心市街地エリア内の住宅建替え、又は住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助します。
- ②まちなか賃貸住宅家賃補助 7,200千円
土浦市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助します。

【今後の予定】

計画期間の平成30年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。



期待される効果・成果目標等

居住人口の増加により、中心市街地での活力とにぎわいの創出に寄与します。

【中心市街地居住人口 目標値：8,443人（H30年）】

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦港周辺広域交流拠点整備事業

(継続)

担当	都市整備部 都市計画課
----	----------------

予算額		8,000				(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度		全体事業費	8,000
		地方債		施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり			
		その他		施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備			
		一般財源	8,000	施策の内容	2 公園・緑地の整備			

事業の目的

公共と民間の連携により、中心市街地における憩いの場として広く市民に開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間を整備し、水辺のにぎわいを創出します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 平成22年度 (株)プロパストより用地取得
- 平成23年度 暫定広場整備工事を開始
- 平成24年度 まちなかグランドデザイン策定業務委託
- 平成27年度 川口二丁目地区官民連携導入条件調査業務委託

【今年度事業内容】

これまでの調査結果を踏まえ、川口二丁目地区全体の開発基本計画の策定を行います。
 事業費 基本計画策定委託料：7,500千円、基本計画策定委員会報償費等：500千円

【今後の予定】

平成28年度に策定する基本計画に基づき、平成29年度以降に測量、基本設計、実施設計及び工事を行います。



川口二丁目地区の開発イメージ

期待される効果・成果目標等

本市の貴重な自然資源である霞ヶ浦を生かして、にぎわいと交流を創出し、中心市街地の活性化に寄与します。